

4月2日

世界自閉症啓発デー

閩福祉課障害福祉班
☎(84) 1257

毎年4月2日は、全世界の人々に自閉症を理解してもらおう取り組みが行われています。

日本では、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日までを「発達障害者啓発週間」として設定し、自閉症をはじめとする発達障害について広く啓発するためのシンポジウムなどが開催されています。

また「いやし」「希望」「平穏」を表す「青」をシンボルカラーに、各地のランドマークでブルーライトアップなどが行われています。

発達障害とは

生まれつきの脳機能の障害で、育て方や本人の怠けが原因ではありません。大人になつてから発達障害と診断される場合もあります。複数の障害が重なつて現れたり、障害の程度や年齢、生活環境などによつても症状は違つてきます。

主な発達障害

自閉症スペクトラム(ASD)

対人関係やコミュニケーションが苦手、こだわりや感覚過敏・鈍麻、パターン化した行動、興味関心の偏り等の特性がある。

注意欠陥多動性障害(ADHD)

多動・多弁、衝動的、不注意などの特性がある。

学習障害(LD)

読む、書く、計算等における特定の分野に極端に得意・不得意がある。

周囲の理解が大切です

発達障害は障害の特性がわかりにくく、複数の障害が重なつて現れることもあるため、周囲の理解不足で誤解を受けやすく、生活のしづらさを感じている場合も少なくありません。

発達障害は、脳機能の障害があるだけで診断されるものではなく、環境に適応できなくなつた時に初めて

診断されます。周囲の理解や置かれた環境で適切な配慮がされれば持つている本来の力が発揮され長所として生かされることもありま

す。

発達障害のある方への配慮

は多くの方にも役立ちます

例えば「場所の案内に文字だけでなく写真やイラスト等の視覚的な情報を組み合わせた」という配慮は、

発達障害のある方だけでなく多くの方にも分かりやすいものになります。

自閉症をはじめとする発達障害を知ること、理解をすることは、当事者だけでなく誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながります。

配慮する内容は、障害特性やそれぞれの場面・状況で異なり、特別なことでなく、一人一人の小さな気遣いが求められています。障害のある人もない人も共に暮らしやすい町にしてい

ましましょう。

発達障害かも…と思ったら

千葉県発達障害者支援センター(CAS)では発達障害全般に関することについて相談を行っています。

未診断の方でもご利用いただけます。

申問 千葉県発達障害者支援センター(CAS) ※予約制

☎ 043(227)8557
FAX 043(227)8559

お子さんの様子で気になることはありませんか？

落ち着きがなくじつと

ていられない、目線が合

にくい、行動の切り替えに

時間がかかる、こだわりが

強いなど、お子さんの様子

で気になることがあります

たら、ロザリオ発達支援セ

ンターまでご相談ください。

療育に関する相談や各種

制度の案内などについて、

電話や訪問等での相談を行

っています。

申問 ロザリオ発達支援センター

☎(60)0625

FAX(60)0688

はり・きゅう・マッサージ等施設利用券

町内在住で65歳以上の方が、町に登録のある施設で、はり・きゅう・マッサージを受ける場合、申請すると施設利用券が発行されます。施設利用券の発行枚数は申請月で変わります。

対 象 65歳以上の方

助成内容 1回あたり1,000円(年間12回まで)

手続きに必要なもの 印かん、生年月日の確認できるもの

申問 福祉課社会福祉班 ☎84-1257

